

アイリスLetter

保護者の皆様へ



2019年10月31日発行

第6号

広島女学院中学高等学校

聖書のことば

わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべて可能です。

フィリピの信徒への手紙 4章13節

10月の初めは、夏を思わせる気候でしたが、11月を迎える今、秋らしい身の引き締まる朝を与えられています。10月1日は、133周年の創立記念日でした。この長い間、聖書讚美歌のことばに迎えられ、一人ひとりが神様への祈りのときを守られたことをつなげてこれたことに深く感謝いたします。

その日に高2は沖繩修学旅行に、翌日には中3が長崎研修旅行に出発しました。台風の影響も心配されましたが、無事が守られ、両学年とも充実した時となりました。

今、学校は文化祭に向けて全校をあげて取り組んでいます。日頃のクラブ活動の発表に磨きをかけることはもちろんです。学年ごと、クラスごとの発表は、普段授業でしかつながらない者同士が、一つのものをつくるために協力し合う出会いの場でもあります。また、当日来てくださるお客様とのつながりも感じながらの作業でしょう。中高の生徒会は、目の回るような思いでしょう。各人の負担は、千差万別でしょうが、11月3日は、今の広島女学院らしさが十分に発揮され、多くの方々と文化祭を楽しむことができるよう祈ります。

さて、今月の聖句は、EP (Extensive Program) で、湊院長先生が、生徒に与えてくださったものです。波乱万丈の人生の中で、困難が目の前にあるとき、この聖句を神様からいただきそれを乗り越えてきた、希望をもつ歩みを話していただきました。私たちも、きつく歩みの力が弱くなっているとき、この聖句をいただき、希望をもつ歩みのできるものに変えていただきましょう。

(校長)



創立記念礼拝

9月28日（土）、小田部三恵子先生（日本キリスト教団牧師、広島女学院高等学校第9回卒業、広島女学院元理事）を講師にお迎えし、広島女学院創立133周年記念礼拝を持ちました。

中学では、「部活で協力してくれない部員たちに『許せん』と腹を立てていた自分に、病床の父が「許してやれよ。お父さんも赦されなかったら生きていけない」と言われたことが深く残っている。私たちは一人一人違うが、誰もが罪を持っている。そんな私たちを通して神が働いて下さる。卒業生の一人が『母が広島女学院に送り出してくれたことが、母から私への最高のプレゼント。それがあって今の私がある。』と語ってくれた。与えられている命、賜物を生かして、喜びある人生を生きて下さい」と語られました。

高校では、犬養道子さんの文章を紹介しながら、「聖書を読むとは、目に見える出来事の向こうにあるメッセージを聴きとること。人の命は朽ちて無くなるようなちっぽけなものではない。神と共にある命は時代を超えて生き続ける。大きな視野の中で生きる自由・希望に目を向けてほしい。」また、ドイツの神学者ティリッヒの



「本当の勇氣とは、究極の方（神）によって受け入れられているということを受け入れる勇氣」を引用し、今生きている自分を受け入れる、与えられた命をどう生きるか選び取ることが許されているのだ」と語って下さいました。

（宗教教育委員会）

学年行事の報告

《中1》 バイブルデイキャンプ・遠足

10月3日（木）の4～6限にゲーンズホールでバイブルデイキャンプを行い、翌日の10月4日（金）に安佐動物公園へ遠足に行きました。バイブルデイキャンプでは映画『ジーザス』を鑑賞した後、各クラスの代表グループによる聖書劇の発表を行いました。聖書劇の発表は、「ドラえもん」と聖書をコラボさせたものなど、創意工夫が張り巡らされていて、楽しいながらも考えさせられる、非常に充実したものとなりました。聖書のメッセージを自分たちの感覚に即して考えることで、より深い理解につながっているように感じました。

遠足は天候に恵まれ、多くの来園者で賑わっていました。生徒たちは、グループでクイズラリーをしながら動物園内の散策と、お弁当後の自由な時間を楽しんでいました。普段とは違って、ゆとりのある楽しい一日となったようでした。



（中1 学年会）

《中2》 遠足

10月4日（金）に秋の遠足がありました。中2はHR委員が中心となって各クラスで行き先・当日の企画を決定し、1・2組は備北丘陵公園へ、3組はもみの木森林公園へ、4組は中央森林公園へ、5組は八天堂のパン工場見学・中央森林公園へ行きました。春の遠足とは異なり、クラスで話し合い、全員が楽しめる内容をめざす秋の遠足は準備段階で大変に思うこともあったと思いますが、当日は準備通りに遠足を満喫することができたようです。お花を見てのんびり過ごしたり、ボール遊びやサイクリングで汗を流したりしました。また、BBQをしたクラスでは夏のチャレンジキャンプで

火を付けるのがうまくいかなかった反省を充分にいかしつつ、おいしい昼食がとれました。

2年生になって半年が過ぎ、今までの行事で培ってきたものが増えてきました。これからも目的・目標に応じて自らの行動を考え、工夫していく力を発揮して欲しいと思います。

(中2学年会)

《中3》長崎研修旅行

台風が心配される中、中3は長崎に研修旅行に向かいました。まずは、新幹線が無事に出発して、一安心。長崎では平和公園を基点として、班別研修を行いました。激しい雷雨に見舞われましたが、各グループとも無事に研修を終えたのが何よりでした。ホテル到着後、被爆者の講話を聞きました。被爆者の平均年齢はいまや80歳を越え、私たちの世代が直接証言を聞ける最後の世代ともいわれています。生徒たちは長崎と広島の共通点や相違点など多くの新しい発見があったようです。

2日目は落下中心地碑での平和セレモニーを終えた後、各グループの興味・関心により長崎市内をめぐりました。紙の地図だけを頼りに、初めての街をうまく回れるだろうかと心配しましたが、すべてのグループが集合時間に無事に間に合い、さすがは中3だと、その成長に驚かされました。

最終日は、ハウステンボスで半日過ごしました。多くのアトラクションがあり、また昼食も目移りするほど様々な店やメニューがあり、生徒もどれを選ぶべきか楽しそうに過ごしていました。こうして自分たちが楽しめるのは、平和であるからこそだということ、みんなどこか心に留めていたと思います。

2泊3日、あっという間だった研修旅行ですが、長崎の地で深い学びができたこと

もに、グループの仲間やクラスメイトとの絆も深めることができた旅でした。



(中3学年会)

《高1》遠足

高1は、HR委員を中心にクラスごとで行き先、活動内容、スケジュールなどを決めて遠足を行いました。

A組は尾道へ。千光寺公園を散策したり、ロープウェイからの景色を楽しんだり、ラーメンなど美味しいご当地名物を堪能しました。B組は秋吉台サファリランドへ。ライオンの赤ちゃんに触れたり、餌やり体験をし、動物たちと癒しの時間を過ごしました。C組は倉敷の美観地区へ。全員で大原美術館を訪れ、たくさんの芸術作品に囲まれて芸術の秋を体感しました。D組は、三次の平田観光農園へ。自分たちで収穫した新鮮なフルーツを使って、フルーツビザ作りなどに挑戦しました。E組は世羅高原へ。世羅ファームでBBQをお腹いっぱい食べた後、ダリア園を訪問し、美しいものと美味しいもの両方を満喫しました。



どのクラスもそれぞれの場所ですっかり『秋』を堪能し、心も体もリフレッシュできました。

(高1学年会)

《高2》修学旅行

10月1日(火)～4日(金)の4日間、高校2年生は渡辺校長先生を団長として、沖縄の修学旅行に行きました。台風の影響が心配されましたが、好天に恵まれて全行程を無事終えることができました。

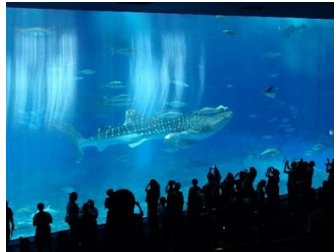
前半は「オキナワ」を知る平和学習の旅です。初日は地域ガイド風の会 比嘉涼子さんからチビチリガマで起こった悲劇から何を学ぶのか、魂のこもった講話をいただきました。2日目は①白梅学徒隊の足跡をたどる(沖縄尚学高校との交流会)②オキナワ終戦の地 平和祈念公園フィールドワーク③沖縄陸軍病院壕 飯上げ体験(南風原文化センター)④対馬丸記念館⑤基地の街コザフィールドワーク⑥嘉手納基地 屋良地区フィールドワークの6つのコースに分かれて、「オキナワ」の過去・現在・未来について学びを深めました。先人たちの大きな痛みを経て今ここに私たちが生きている奇跡、そして未来の平和を築く責任。自分たちの生き方を見つめ直す2日間でした。

後半は沖縄の自然を体感。3日目、美ら海水族館の見学後は、シュノーケリングやシーカヤック、シーサー・パインジャム・黒糖・お菓子・美ら海キャンドルづくりに繰り出しました。最終日は首里城見学の後、国際通りを自由散策し、別れを惜しみながら沖縄を後にしました。

一回りも二回りも自らを成長させてくれた修学旅行での経験を、残り1年半となった女学院の生活に活かしていければと思っています。この修学旅行を実施するに当たり、多方面から支えてくださった保護者の皆様、関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。



*糸数壕の中でガイドの話をお聞きください。



*美ら海水族館「黒潮の海」を泳ぐジンベイザメ
(高2学年会)

《高3》遠足

高校3年生は秋の遠足で「みろくの里」に行ってきました。この福山にあるテーマパークにはジェットコースターや数々の乗り物があり、生徒教員の別なく思いっきり絶叫して、受験勉強のストレスを発散していました。行き帰りのバスの中ではクラスごとに好みの映画を鑑賞していました。学年全体で行う行事は残りわずかですが、皆でワイワイ盛り上がりながら、1つの作品を観ることもいい思い出になったでしょう。束の間の非日常の翌日は記述模試でした。受験生の顔に戻った生徒たちは、全力で自らの実力を試していました。高校3年生の1年間、あるいは広島女学院での6年間も終わりが近いですが、皆が最後まで思い出深い中高生活を送れることを学年会一同応援しています。



(高3学年会)

キリスト教強調週間・主題講演保護者開放のご案内

今年度のキリスト教強調週間は、11月11日（月）～16日（土）、「いのち・寄りそい・希望～苦難の現場に身を置く～」というテーマで実施いたします。11月12日（火）は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが組まれます。

主題講演講師、立野泰博先生は、日本福音ルーテル教会の牧師で、東日本大震災直後から宮城県の石巻河北・北上地区（大川小学校地区）を中心に救援活動にあたられました。『被災地に立つより添いびと』（キリスト新聞社）を出版。日本図書館協会選定図書に選ばれました。海外では、タイ、インドネシア津波災害救援活動、パレスチナ子ども難民支援、フィリピン支援に従事。現在、熊本の大江教会牧師として熊本地震の救援にも関わられ、九州学院高等学校で聖書科講師として教えられています。講演の中では、パレスチナのオリーブの木と松島の松の木で作られたパンフルートの演奏と歌の共演もあります。

講演は保護者の皆様にも開放いたします。例年、多くの生徒たちの心に残る女学院ならではの深い出会いの機会を、ぜひお子様と共に経験していただけたらと思います。

日時：11月12日（火）

高校主題講演 9時05分～10時35分

中学主題講演 10時45分～12時05分

場所：ゲンスホール

生徒席の後や補助席にお座りください。なお、生徒たちが講演に集中できるよう、途中の出入りはできるだけお控えいただきますようご協力をお願いいたします。

（宗教教育委員会）

最終下校時刻変更のお知らせ

最終下校時刻は、文化祭終了後の11月4日（月・振替休日）より、中学生は17：30、高校生は18：00となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

（中学・高校生徒会）

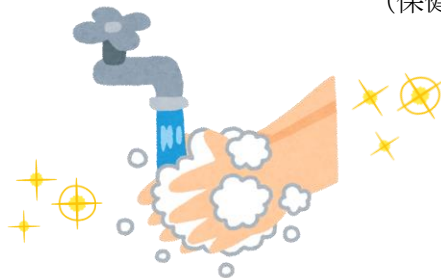


保健室だより（6）

朝晩肌寒く感じる日が増えてきました。急な気温の変化に体調を崩しやすい時期です。食事・運動・休息のバランスの取れた生活を心がけて、元気に過ごしていきたいですね。

保健室では最近、のどの痛みや鼻水などの風邪症状を訴えて来る人が増えてきました。家に帰った時や食事の前には手洗い・うがいといった感染予防をしっかりと行っていきましょう。ご家庭での健康管理もよろしくお願いします。

（保健室）



心の健康（6）

11月初旬には保護者も加わった学校行事があり、ストレス対応にも気を配りたい頃です。

ストレス解消のヒントです。今回はSTRESSの5文字目のS—Sleeping・睡眠を十分にとろう！です。眠りは、一晩に「深い時」と「浅い時」を繰り返しています。深い眠りから浅い眠りに移るのは、眠って

いながら、起きている時の記憶を整理しているらしいのです。そのおかげで、起きている時の脳の働きが活発になるのだそうです。浅い眠りがだんだん深くなり、再び浅くなるまでのサイクルは90分～100分で、寝ている間に、このサイクルが4回ほどあるのが良いそうです。

ストレスが解消し、心身ともに健康な生活を送るためには、一晩に90分×4サイクル＝6時間。サイクルを考えながら1日6時間はきっちり眠りましょう。

11月はゆっくりと快適に眠れる工夫をして心身ともにスッキリした朝を迎えましょう。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学放送部

*第36回広島市中学校総合文化祭

放送コンテストの部

総合 1位

団体：テレビ番組部門

「姉妹って……？」 5位

ラジオ番組部門

「その次は(爆笑)」 5位

個人：アナウンス部門

N・Y (3-4) 1位

U・H (3-2) 2位

朗読部門

Y・R (3-4) 入選

◇中学ソフトテニス部

*平成31年度広島市中学校ソフトテニス新人大会

安芸・中ブロック大会 女子個人戦

Y・M (2-4)

M・W (2-5) ペア 4位

N・E (2-2)

A・H (2-1) ペア 6位

⇒市大会への出場権獲得

《高校》

◇高校水泳部

*広島県高等学校新人水泳競技大会

団体：400mリレー 7位

⇒中国大会出場権獲得

800mリレー 6位

個人：G・R (2-D)

100m背泳ぎ 7位

200m背泳ぎ 6位

⇒中国大会出場権獲得

K・Y (1-C)

400m自由形 5位

800m自由形 4位

⇒上記2種目 中国大会出場権獲得

M・Y (1-C)

Y・M (1-D)

⇒リレー選手として中国大会出場権獲得

◇高校卓球部

*第65回広島県高等学校新人卓球大会

(個人の部) 広島地区予選 女子ダブルス

M・Y (2-B)

Y・M (2-A) ペア 5位



◇個人の活躍

*未来博士3分間コンペティション2019 (科学研究発表)

「1枚で未来を拓く!ポスターセッション部門」

広島大学 未来に輝きま賞 (英語部門) 銀賞受賞

U・A (2-E)

*第66回 国際協力・国際理解のための高校生主張コンクール

外務大臣賞 (全国1位) 受賞

N・A (3-E)

「世界の平和のために日本と国連ができること」

《中高》

◇美術部

*広島県中高生ドローイング大賞展

高校生の部

Y・M (2-D) 奨励賞

M・H (2-E) 入選

中学生の部

N・R (2-5) 奨励賞

I・M (2-4) 入選

T・T (2-5) 入選

I・Y (1-3) 入選

O・R (1-3) 入選

S・F (1-4) 入選

Y・A (1-4) 入選

教職員の動向

○10月1日に保健室の片山先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。

晴翔(はると)くんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

○10月4日に理科の佐藤先生に男児が誕生されました。おめでとうございます。

傑(すぐる)くんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。



今月の聖句

「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。」

(ローマの信徒への手紙

5章3節～5節前半)

全国のキリスト教主義学校が大好きな聖句です。「苦難→忍耐→練達」という図式が、学校のイメージにぴったりだからでしょう。しかし、この聖句で大切なのは、1節の「イエス・キリストによって神との間に与えられた平和」および、5節の「希望」の方なのです。「希望」は「希望の源泉」という意味で、イエス・キリストのことです。私たちが努力できるのは、ひとえにイエス・キリストに寄って立つことが許されているからなのだ、パウロは言いたいのです。

ですから、「われらは神と共に働く者なり」という学院聖句で大切なのは、「われらは働く(ラボラムス)」ではなく、その前提である「神とともに(クム・デオ)」の方なのです。

(聖書科Y. I)

11月行事予定

1	金	PTAバザー収集日
2	土	文化祭準備日 (中3、高1・2出校日)
3	日	文化の日 文化祭
4	月	振替休日
5	火	代休(11月3日(日)) 高3代ゼミ模試(希望者)
6	水	面接週間(40分授業) 火曜授業
7	木	
8	金	4～6限土曜授業(高7限まで) (L)
9	土	高1・2進研模試
10	日	
11	月	面接週間(40分授業) キリスト教強調週間
12	火	特別プログラム(授業なし)
13	水	(EP)
14	木	
15	金	
16	土	45分授業 (L) キリスト教強調週間特別礼拝 ニュース検定 午後
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	45分授業 参観日 高1・2スピーチコンテスト(7限～)
21	木	
22	金	1～3限 土曜授業 (L)
23	土	勤労感謝の日 広島県高等学校キターマントリンフェスティバル
24	日	
25	月	選択科目1号用紙提出
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

